

# 34会歩く会 第11回 薬用植物園と森永乳業

東大和市駅から薬草植物園と森永乳業工場見学

平成25年5月10日(金)



平成25年5月10日(金)歩行コース 東大和市駅 10:00——都立薬草植物 10:45—野火止め用水一玉川上水駅——東大和市南公園——(昼食)森永乳業工場——玉川上水遊歩道——足湯——混合クラス会  
次回の34歩く会も12回目になりました、川鍋さんがいろいろ考えていただき、毎回目的をきめて、なかなか今回の東村山浄水場見学は個人では行けないね、私ごと(伊澤)ですが、伊西・大貫さんと浄水場の建設にアルバイトした思い出があります。次回12回34歩く会に参加ください。



都立薬草園で園内を説明してくださいました。女性と男性に別れて見学しました。





南公園・昼食時にD組の田中さんが

お孫さんを連れて見せてくれました。南公園から森永乳業工場の見学に行きました。



第 11 回の43歩く会も「式拾四文」西の店で混合クラス会 D 組の斎藤さんが参加しました。

-4-

## 第11回 34歩く会

平成25年5月10日(金)

# 薬用植物園と森永乳业

東大和市駅から薬用植物園と森永乳业工場見学

今回は、歩行距離をやや少なくして、薬用植物園と市内の工場見学を致します。

都立薬用植物園は、東大和市駅の直ぐ南にあり、開演中は園内を自由に散策することができます。

薬用植物園は昭和21年に設立され、薬用植物を収集・栽培・鑑定などをしております。麻薬である大麻やケシなども栽培されており、特にケシは5月に美しい花が咲き、丁度見頃でしょう！ただし金網の中です。職員の方の説明などもいただけそうです。ケシからはモルヒネやインフルエンザの治療薬のタミフルなども合成されているそうですよ。その他多種多様の植物があり、温室や冷室もあり、入口には牡丹がまだ咲き残っているかも… そんな花一杯の園内をゆっくり散策しましょう。

薬用植物園からは野火止用水の遊歩道を歩き、都立東大和南公園に出ます。この公園は旧日立製作所および戦後の米軍基地の跡地で、芝生の広場には戦時中に弾丸で穴だらけになった変電所の建物が残っています。次の目的地の工場見学は午後1時からですので、少し早いがここで昼食としましょう。

森永乳业東京多摩工場は、主に牛乳とその関連の飲料を製造しており、工場見学は平日の10時と1時の2回です。工場見学の後に、オプションとしてチーズ作りが出来るかも… 所要時間は約90分です。

森永乳业からは再び都立東大和南公園に出て、玉川上水駅に寄ります。さらに玉川上水の遊歩道を歩き、「足湯」に寄りましょう！この「足湯」は、ゴミ焼却場で発生した熱を有効利用したものです。緑の木立に囲まれ、ゆっくりすることが出来、足の疲れや日頃の疲れも癒されることでしょう。

「足湯」で身体が温まったところで、東大和市駅に戻ります。そして、今日の反省会とクラス会をやり、多いに盛り上がりましょう！(歩行距離：7～8km)

1. 開催日： 平成25年5月10日(金) 10時集合

(森永乳业の工場見学は平日のみのため、今回は平日開催に致しました)

2. 集合場所： 東大和市駅

3. 歩行コース； (ト)はトイレ

東大和市駅(ト)→都立薬用植物園(ト)→野火止用水→玉川上水駅(ト)→東大和南公園(ト)(昼食)

10:00 10:05 10:45 11:15 11:30 12:30

→森永乳业の工場見学→東大和南公園(ト)→玉川上水駅(ト)→玉川上水遊歩道→

13:00 14:30 14:45 15:00

→足湯(ト)→東大和市駅→(クラス会)

15:20 15:45 16:00

4. 注意事項：

① 小雨決行です。

② 昼食は、玉川上水駅付近で購入が可能ですが、前もってご用意しておくことをお勧めします。

川鍋 正義

今日は五月晴れ、新緑が黄緑色に輝き、眩しいほどの朝だ。集合場所である東大和市駅に行くと、もう10名ほどの仲間の顔が見える。懐かしい面々だ。その後も次々に仲間が集い、集合時間の10時になると、18名が集まつた。さらに2名は二次会のみに参加の予定。

今日のコース説明等の後、東大和市駅のすぐ南にある「都立薬用植物園」に向かう。植物園に入ると、予約しておいた2名のガイドさんが出迎えてくれた。ガイドさんは男性と女性だったので、我々を男性グループと女性グループに分けて、男性グループは男性のガイドさんに案内していただくことにした。

女性グループは、先ず温室に向かい、男性グループは資料室に入る。資料室にはケシや大麻、その他の薬用植物の標本や説明パネルが所狭しと展示されている。特に、今美しい花を咲かせている「ケシ」について説明をいただく。麻薬になるために一般人の栽培が禁じられている「ケシ」の鉢植もあり、白い美しい大きな花を咲かせている。その他、我々が日常目にしている植物の中にも薬用になるものが多く展示されており、その種類の多さには驚きだ。

料館を出てから温室に向かう。温室の外から「ヒマラヤの青いケシ」の花を見る。大きく明るい空色の花で、何とも爽やかでジーッと見入ってしまう。こんな花が一面に咲いていたらどんなに素晴らしいことか・・・日本の南アルプスの山麓には群生があるとか・・・

温室の裏手には種々の薬草が植えられている。マムシ草やマイズル草など、野山でよく見られる山草が多い。ガイドさんに種々の薬草を説明していただき、また質問にも答えていただいた。薬草園の西側を巡り南側に出ると、シャクヤクの花が咲き始めている。ボタン園の中を抜け、色とりどりの花が満開のポピー園へ。ここに咲いているポピーはケシの仲間だが、栽培は禁じられておらず一般にOKだ。ピンクの大輪のポピーもあり、実に美しい。ポピーに囲まれて、男性班の集合写真を撮る。丁度女性班が反対側から来たので、女性班の集合写真も撮る。色とりどりのポピーに囲まれて素敵な写真だ。

ポピー園の奥には3年目の菖蒲芋の紫色の花が咲いている、一本の棒のようだ。そこから麻薬の原料になる「ケシの栽培園」へ。ケシの栽培園は二重の鉄柵に囲まれている。柵の間から覗くと、赤や白やピンクの大輪の花が咲いており、実に美しく見事だ。麻薬はケシの花が咲いた後にできる「ケシ坊主」に傷を付けて、そこから滲み出る白い汁を集め、それを精製して麻薬の粉末にするのだ。もうその「ケシ坊主」も出来ている。今日は薬科大学の学生たちが沢山来ており、柵の中で説明員の話を聞いている。

「ケシの栽培園」からは再び園内の種々の薬草や木々やハーブなどの説明を受ける。水仙やスズランも薬草だ。「なんじやもんじや」の大木も白い花を沢山付けている。

園内を約1時間半にわたり、極めて多種多様の薬草についてガイドさんから説明を受け、以前は何となく見学していた薬草園の見方が変わった！ ガイドさんの薬草についての博識には驚く。

11:30 薬草園から東大和市駅前に出て、西に向かい綺麗な家々が並ぶNTTの社宅の中を抜け、警視庁の運動場の北側を進む。最近テレビで話題になっている「廃プラスチック処理場」予定地の近くを通り、我々の仲間も世話になっているケアセンター「さくら苑」を右に見て「東大和南公園」に入る。ここは戦前、日立航空機の工場があり、戦時中は爆弾が雨霰と降り、機銃掃射も行われたところだ。今は運動場や野球場などがあり緑豊かな公園になっている。公園には戦時中の爆撃の跡を生々しく留めている変電所が記念物として残されている。その変電所の前の芝生の広場の休憩所で昼食とする(11:55)。各々お弁当を広げ、お寿司やおにぎりをパクつく。キュウリの漬物や果物などがお裾分けとして配られる。爽やかな五月晴れのもと、新緑に包まれての昼食は何と素晴らしいことか！仲間同士おしゃべりしながら、あっという間に時間が過ぎる。今日は東京で29.4℃と今年最高の気温であったそうで、暑い！

次の「森永乳業」の見学は1時からなので、12:40に集合し、出発！ 銃弾で穴だらけの変電所を右に見て、体育館の前を通り、12:50に森永乳業の正門に到着。工場見学を予約しておいたので守衛が

待ってましたとばかりに、係の人に電話連絡。正門を入って左の方の事務所へ向かう。左手の芝生には、この工場が出来た当時から見たことがある数匹の乳牛のモニュメントがゆったりと草を食んでいる。事務所の前には案内の女性が2名、笑顔で出迎えている。建物に入り、2階の学習室に案内される。やがて若い女性による工場や製品の説明やビデオが上映される。眠気覚ましに工場で製造された「アロエヨーグルト」が配られる。歩き疲れた身体には冷たく実に美味しい！

説明員の話が進むうちに、今日の暑さか疲れか、数名がぐっすり居眠り。やがて味覚テストになり、目が覚める。味覚テストは、小さなコップに入った水がどんな味かを当てるものだ。先ほどのヨーグルトの味が残っているので、味覚が鈍っていたが、半数の人は酸っぱいと感じ、大当たり！

次に「チーズ作りの実習」だ。3班に分かれて「チーズ作りのセット」が配られる。先ず、温められた牛乳が入ったコップに薄い酢を加え、スプーンでゆっくり5回ほど攪拌すると牛乳が凝固して白い塊になる。これを茶漉しで水分を分離すると、白いチーズの出来上がり！早速、セットの中に入っているクラッカーに乗せていただく。美味！チーズ作りの実習が終わって、いよいよ工場内を見学だ。工場内は撮影禁止だ。工場の2階の扉を開け、見学者通路に入る。

先ず牛乳をタンクローリーから検査して受け入れ、保管し、配管を通してユーホーのような円盤状の遠心分離機で不純物を取り除いている。見学通路を進むと、殺菌装置、ホモジナイザーなどが次々に見られる。そして紙パック詰め、日付印字、箱詰などの行程が眼下に見られる。工場の現場はオートメーション化されており、人の姿がほとんど見られない。牛乳瓶への充填工程もみられる。牛乳瓶は省エネのために、従来のガラス瓶の半分の重量で、使用した瓶は回収され、繰り返し50回ほど使用されるそうだ。牛乳の後はジュース類の紙パック詰めやヨーグルトのパックなどの行程を見学。それぞれかなりのスピードで製造され箱詰されて保冷庫に入ってゆく。今日はいろいろな飲料製品の製造工程を見学したので、今後は飲料を購入する時、この工場を思い出し、製品を見る目も異なってくると思われる。

再び見学通路を戻り、事務所1階のロビーに。このロビーにはこの工場の製品の自動販売機があり、「これは美味しいよ」という人気のコーヒーを購入する(120円)。一口飲んでみて確かに美味しい！コーヒーの香りとほろ苦さ、牛乳の奥深い旨みがジワッと味わえる。疲れた身体には何とも言えない美味しいだ。事務所の前で集合写真を撮り、案内をしてくれた女性に見送られて工場を出る。

工場からは南公園の西端を歩き、西武線の玉川上水駅へ。駅の跨線橋を渡り駅の南側へ出る。ここからは沢山の水が流れている玉川上水の遊歩道を東に進む。やがて浄水場への取水場があり、羽村の堰から流れてきた水の全てが地下水道に入ってしまい、その先には昔からの細い玉川上水がそのまま残されており、鬱蒼とした木々に囲まれて伸びている。玉川上水の川底を見学できる通路があるのでそこに入る。ここには汚水処理場からの浄化された水が滝となって流れ込んでいる。川底には大きな鯉が沢山悠々と泳いでいる。爽やかな空気を吸い込み、再び遊歩道を東に進む。足に伝わる土の弾力が何とも言えない。遊歩道は雑木林の中の路で、新緑が眩しい。木漏れ日もあり、ゆっくりと歩く。

やがて左側にゴミ焼却場があり、その先の「足湯」に到着！(14:45) この「足湯」は、ゴミ焼却場の排熱による温水を使用している。場内に入つてゆくと、管理人のおばさんが大きな声で注意事項を言う。靴はここで脱げ、長湯はするな10分で交代しろなどとうるさい。先客があり、次々に入れ替わつて足湯に入る。女性達も膝まで捲り上げ、70年間使い続けていた美しい足を湯に浸す。今日一日歩き回ったので気持ちが良く、足の疲れが消えてゆくようだ。やがて足の先から身体全体が温まってきて眠くなってきた。足の疲れも癒された頃「足湯」を出発。(15:05)

雑木林の中の小路をたどり、野火止用水の遊歩道に出て、西武線を左に見て、午前中見学した「薬用植物園」を右に見て、やがてゴールの「東大和市駅」に到着！(15:15)

ここで一時解散。懇親会の「式拾四文」では更に2名が加わり、大いに盛り上がる。今回は健脚者には少し物足りなかつたかもしれないが、それでも12,000歩で、いろいろお勉強も出来た。次回は、上北台駅から「空堀川」を久米川駅まで歩く。日常あまり見たことも無いような東大和の景色が見られよう、また途中で「東村山浄水場」を係員の案内で見学する予定だ。